

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【公表番号】特表2014-520546(P2014-520546A)

【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2014-519671(P2014-519671)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/077 (2010.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/36 (2015.01)

A 6 1 K 35/32 (2015.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/04 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/00 2 0 2 G

C 1 2 Q 1/02

A 6 1 L 27/00 G

A 6 1 L 27/00 Z

A 6 1 L 27/00 C

A 6 1 K 35/36

A 6 1 K 35/32

A 6 1 P 19/08

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 19/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年3月15日(2016.3.15)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

胎児の骨端軟骨細胞、胎児のアキレス腱細胞または胎児の皮膚線維芽細胞からなる群から選択される胎児細胞の単離、増殖および発生のためのインビトロの非酵素方法であって、以下の段階を含む：

a) 胎児の骨端軟骨細胞を含む尺骨の胎児の軟骨；胎児のアキレス腱細胞を含む胎児のアキレス腱；または胎児の皮膚線維芽細胞を含む胎児の腹部の皮膚；から選択される、胎児のサンプルを採用する工程、

b) 前記尺骨の胎児の軟骨、胎児のアキレス腱または胎児の腹部の皮膚のサンプルを外科用メスの切断面に機械的に接着させることにより、微小に切断し分散させる工程、

c) 前記尺骨の胎児の軟骨、胎児のアキレス腱または胎児の腹部の皮膚のサンプルを、前記胎児の骨端軟骨細胞、胎児のアキレス腱細胞または胎児の腹部の皮膚の線維芽細胞を増殖する条件下で、インビトロで培養する工程、

d) 初代の接着性の胎児の骨端軟骨細胞の細胞集団、初代の接着性の胎児のアキレス腱

の細胞集団、および初代の接着性の胎児の皮膚線維芽細胞集団を前記培養から選択し、単離する工程。

【請求項 2】

尺骨の胎児の軟骨サンプルが胎児の近位尺骨の骨端のサンプルである、請求項 1 に記載の非酵素方法。

【請求項 3】

指定番号 F E 0 0 2 - C a r t を有し、受入番号 E C A C C 1 2 0 7 0 3 0 3 - F E 0 0 2 - C a r t で供託されている、請求項 1 に記載の非酵素方法により得られる胎児の骨端軟骨細胞 (F E C) 細胞株。

【請求項 4】

指定番号 F E 0 0 2 - T e n を有し、受入番号 E C A C C 1 2 0 7 0 3 0 2 - F E 0 0 2 - T e n で供託されている、請求項 1 の非酵素方法により得られる胎児のアキレス腱細胞細胞株。

【請求項 5】

指定番号 F E 0 0 2 - S K 2 を有し、受入番号 E C A C C 1 2 0 7 0 3 0 1 - S K 2 で供託されている、請求項 1 の非酵素方法により得られる胎児の皮膚線維芽細胞株。

【請求項 6】

新しい軟骨組織および / または 3 次元構造物を製造するための請求項 3 に記載の胎児の骨端軟骨細胞 (F E C) の使用方法。

【請求項 7】

新しい腱組織および / または 3 次元構造物を製造するための請求項 4 に記載の胎児のアキレス腱細胞の使用方法。

【請求項 8】

新しい皮膚組織および / または 3 次元構造物を製造するための請求項 5 に記載の胎児の皮膚線維芽細胞の使用方法。

【請求項 9】

治療薬として使用する請求項 3 に記載の胎児の骨端軟骨細胞 (F E C) 。

【請求項 10】

治療薬として使用する請求項 4 に記載の胎児のアキレス腱細胞。

【請求項 11】

治療薬として使用する請求項 5 に記載の胎児の皮膚線維芽細胞。

【請求項 12】

骨軟骨組織および筋骨格組織の修復および再生方法において使用する、請求項 3 に記載の胎児の骨端軟骨細胞 (F E C) 。

【請求項 13】

腱組織および筋骨格組織の修復用および再生用の方法において使用する、請求項 4 に記載の胎児のアキレス腱細胞。

【請求項 14】

皮膚組織の修復および再生方法ならびに熱傷、創傷および線維症状態の処置のために使用する、請求項 5 に記載の胎児の皮膚線維芽細胞。

【請求項 15】

骨軟骨疾患または欠損、関節炎および筋骨格疾患の処置方法において使用する、請求項 3 に記載の胎児の骨端軟骨細胞 (F E C) 。

【請求項 16】

筋骨格疾患および腱障害の処置方法において使用する、請求項 4 に記載の胎児のアキレス腱細胞。

【請求項 17】

皮膚疾患の処置方法において使用するための、請求項 5 に記載の胎児の皮膚線維芽細胞。

【請求項 18】

請求項3の胎児の骨端軟骨細胞（FEC）、請求項4の胎児のアキレス腱細胞、または請求項5の胎児の皮膚線維芽細胞の使用を含む、関節炎、骨軟骨欠損、軟骨修復、腱修復、筋骨格組織修復および皮膚修復の処置のための治療薬および/または医療装置の開発のためのスクリーニング方法。